



接種無料

新型コロナワクチン接種のお知らせ

新型コロナワクチンの接種は強制ではありません。本人による同意がある場合に限り、接種が行われます。

12歳以上で3回目以降の接種の方

※ファイザー社およびモデルナ社製オミクロン株対応2価ワクチン(BA.4-5対応型)

オミクロン株対応ワクチンは、**1人1回**接種できます(従来型ワクチン最終の接種から3カ月後以降の日)

※オミクロン株対応ワクチン(ファイザー・モデルナ)は、現時点では**1人1回**の接種とされています。オミクロン株対応ワクチンを接種した方は、その後の接種を受けることができませんのでご注意ください。

接種券の発送

従来型ワクチンの最終の接種完了日に応じて、随時発送します。
オミクロン株対応ワクチンは、以前お送りしている接種券(緑またはピンクの封筒でお送りしています)で接種できます。最終の接種後に転入した方や接種券の再発行をご希望の方は、下記コールセンターへ

接種場所と予約方法

接種券が届き次第、最終接種から**3カ月後以降の日**をご予約ください。

〈集団接種／市内5病院〉

●インターネットで予約
スマートフォンかパソコンからアクセス



●電話で予約(通話料有料)
(下記コールセンター)

〈市内診療所・クリニック〉

医療機関へ直接予約

※詳細は専用HP・接種券に同封の案内をご確認ください。

12歳以上で1・2回目未接種の方

※ファイザー社製従来型ワクチン

集団接種会場(田無庁舎)のみで実施中。詳細は接種券に同封の案内をご確認ください。 ※接種券の再発行などは下記コールセンターへ

5～11歳の方 小児接種について

※ファイザー社製従来型ワクチン(小児用)

【初回接種(1・2回目)・追加接種(3回目)】 実施中 詳細は、接種券に同封の案内をご確認ください。

市内病院・診療所・クリニックに加え、**1～3回目接種を集団接種会場(田無庁舎)で1月14日(土)に実施します。**

生後6カ月～4歳の方 乳幼児接種について

※ファイザー社製従来型ワクチン(乳幼児用)

対象となる方へご案内はがきをお送りしました。

★**ワクチン接種は強制ではありません。**ワクチンの効果や安全性については、ご案内はがきなどをご覧いただきワクチン接種を受けるかを保護者の方がご検討ください。

◆**接種券の申請方法** ※接種券は、住民票所在地に郵送します。 ★接種をご希望の場合は、**接種券の発行申請**が必要です。

●電話
(下記コールセンター)

●電子申請



●窓口
(下記相談窓口)

●郵送(〒202-8555市役所健康課新型コロナワクチン担当)
※申請書(市HPから)が必要です。

◆**接種場所と予約方法** 市内病院・診療所・クリニック…医療機関へ直接予約 ※詳細は、専用HP・接種券に同封のご案内をご確認ください。

【厚生労働省HPのご案内】

新型コロナウイルスワクチンの有効性・安全性などの詳細は、厚生労働省HPをご覧ください。



厚生労働省HP

東京都大規模接種会場でも接種できます。

●東京都ワクチン接種会場コールセンター
☎0570-034-899



東京都HP

西東京市新型コロナワクチンコールセンター

ワクチン接種に関するお問い合わせはこちら

☎03-5369-3904

時(月)～(土) 午前8時30分～午後7時

※令和4年12月29日(木)～1月3日(火)・(祝)・(休)を除く

※聴覚に障害のある方

FAX042-439-6171

西東京市新型コロナワクチン相談窓口

場田無庁舎2階、防災・保谷保健福祉総合センター4階

内接種券再発行・ワクチン接種に関するお問い合わせ、インターネットによる予約サポートなど ※予約をご希望の方は接種券をご持参ください。



多摩六都科学館 ナビ

みんなのプラネタリウム

～やさしい日本語でプラネタリウムを楽しもう～

わかりやすい表現(やさしい日本語)のプラネタリウム解説を聞いてみませんか?日本語を学習中の方にも、幅広い年代の方にもお楽しみいただけます。

- 当日の星空や見ごろの天体を紹介します
- ゆっくり、はっきり、聞き取りやすい言葉で話します
- 漢字やカタカナにはふりがなを表示します

時2月5日(日)午後5時30分～6時30分

対どなたでも ※小学生以下は保護者と一緒に観覧してください。

定234人(申込順)

¥観覧付入館券(展示室+プラネタリウム1回):大人1,040円(小人420円)

申問のHPから

場/問多摩六都科学館

☎042-469-6100

※休館日:令和4

年12月28日～

1月3日(火)・

10日(火)・16日(月)・

23日(月)～26日(木)・

30日(月)



問のHP



ロトサイエンスコラム

94

西東京市にノウサギはいた?

多摩六都科学館の展示室4「しぜんの部屋」にある雑木林のジオラマにはノウサギ(はく製)がいます。このジオラマは1960年代の風景を再現していますが、その頃は科学館のあたりでもノウサギを見ることができたようです。

東京にいる野生のウサギはニホンノウサギという種類で、日本固有種です。主な生息場所である藪や草原、森林の端の人里に近いいわゆる里山とよばれる環境が都市の近くで失われるにつれ、ノウサギの数も減少しました。2020年度版の東京都レッドリストでは、北多摩で絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危機が増大している種)に指定されています。

西東京市でのノウサギの情報を調

べていたら、2016年に市民が企画した市内の屋敷林を訪ねる見学会の記録に、新町地区の屋敷林でノウサギを見かけるというご当主の言葉が残っていました。実際に見つけることは難しいですが、ノウサギがすめそうな環境はどこだろうと身近な環境を改めて見つめてみると、何か発見があるかもしれません。

